

日本災害情報学会第28回学会大会 大会プログラム



令和6(2024)年3月16日(土)～17日(日)
東京大学大学院情報学環・福武ホール(地下2階) / オンライン

◎3月16日(土)

09:00	受付開始	[地下2階 ホワイエ]
09:30-10:55	口頭発表(セッション1)	[A・B会場]
11:05-12:45	口頭発表(セッション2)	[A・B会場]
13:35-13:45	会長挨拶	[A会場]
13:45-15:25	口頭発表(セッション3)	[A・B会場]
15:35-17:00	口頭発表(セッション4)	[A・B会場]
17:10-18:35	口頭発表(セッション5)	[A・B会場]
19:00-	懇親会(事前申込制・先着順)	[ピアンタモッチ]

◎3月17日(日)

09:00	受付開始	[地下2階 ホワイエ]
09:20-10:50	口頭発表(セッション6)	[A会場/オンライン]
11:00-12:50	口頭発表(セッション7)	[A会場]
13:50-15:20	口頭発表(セッション8)・意見交換会	[A会場]
15:30-17:00	口頭発表(セッション9)・意見交換会	[A会場]

【参加方法・参加費など】

	正会員(名誉会員・賛助・購読会員含む)	学生会員	非会員(一般)	非会員(学生)
大会参加費	4,000円	2,000円	8,000円	4,000円

	社会人(社会人学生含む)	学生
懇親会参加費 ※事前申込制、先着順、当日に現金で徴収	6,000円	3,000円

- 参加をご希望される方は、以下のURL(STORES)から参加チケットを購入してください。
参加チケット購入サイト <https://kst123.stores.jp/>
- 購入後、登録したメールアドレスにチケット(PDF)が届きます。
- オンライン参加の場合は、チケット記載のミーティングURLから入室ください。
- 現地参加される方は、受付でチケットの提示をお願いします。
- 現地での参加費の支払いはご遠慮ください。
- 領収書は後日、学会事務局よりメールにてお送りいたします。領収書の個別希望への対応はできません。
- 予稿集のURLもチケットに記載されています。
- 懇親会は事前申込制、先着順といたします。定員に達し次第、終了いたしますので、下記よりお早めにお申し込みください。

- 懇親会参加フォーム <https://forms.gle/yBgUhKkqx7s1bYjM7>
 日時：3月16日（土）19時～
 場所：ピアンタモッチ（東京都文京区本郷3-19-7 三宝ビル B1F）
 ※福武ホールから徒歩約15分
 ※参加費は当日、現金で徴収します

【大会会場案内（アクセスマップ）】

会場：東京大学大学院情報学環・福武ホール 地下2階
 〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3-1

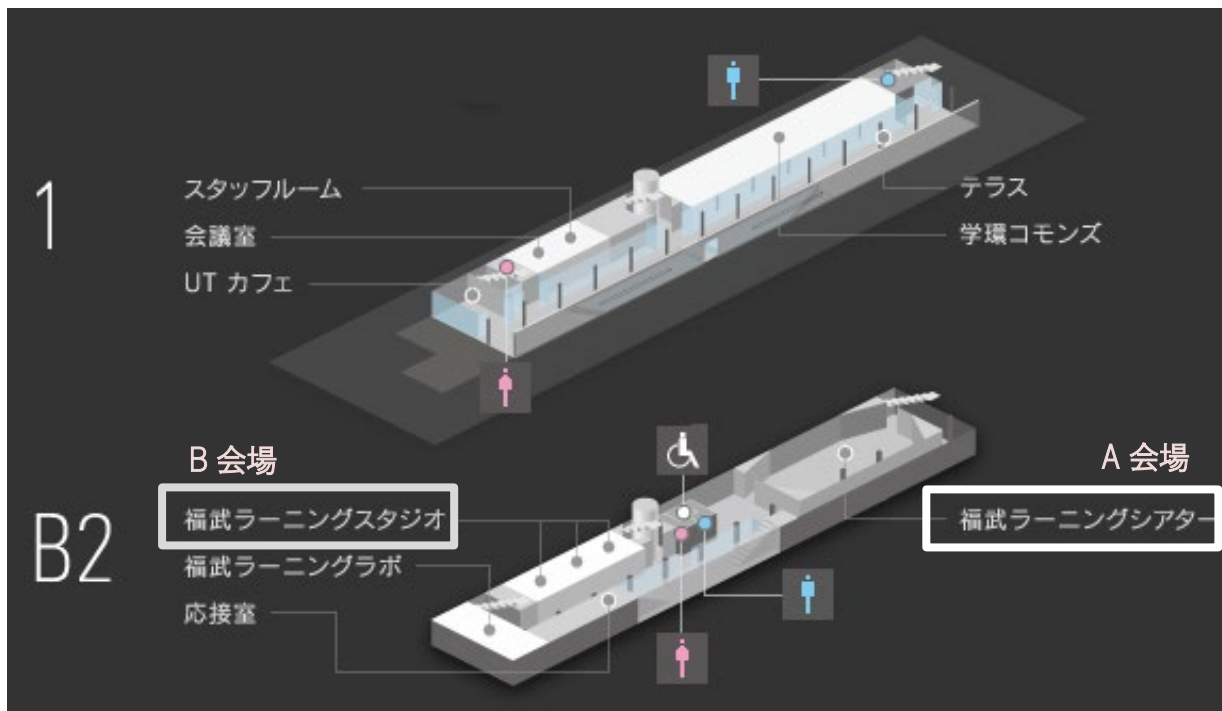
◆注意◆

現在、赤門が耐震性能の確保のため、閉鎖されています。本郷三丁目側よりお越しの方は、その手前にあります、「伊藤国際学術研究センター門（仮）」よりお入りください。



◆最寄り駅からの所要時間

- 都営大江戸線本郷三丁目駅下車・徒歩7分
- 東京メトロ丸ノ内線本郷三丁目駅下車・徒歩8分



【学会に参加する全員の方に対する諸注意】

- チケットの購入は必ず事前に行ってください。
- 対面発表などへのオンライン参加の仕組みは準備しませんので、対面発表を聴講希望される方は会場にお越しください。
- 「オンラインによる口頭発表」に対応するため、現地において発表を聞ける会場を準備します。

【現地参加の方への諸注意】

- 大会参加受付は、B2 階ホワイエです。会場にお越しの際は、受付にてチケット（電子または印刷したもの）を提示し、会場内にお入りください。
- 現地のネットワーク回線は eduroam、UTokyo-Guest が使用可能です。
- 学会大会で使用する（指定された）会場以外の会議室等には、絶対に入室しないでください
- 発生したごみについては、各自でお持ち帰りいただくようお願いします。
- 貴重品の管理は各自の責任においてお願いいたします。万が一、盗難等の被害が発生しても、大会実行委員会では一切の責任を負えません。

【オンライン参加の方に対する諸注意】

- Zoom クライアントを事前にご自身の PC 等にインストールし、最新版へのアップデートをお願いいたします。
- 当日は 9:00 から入室できます。
- 「ホストがこのミーティングを開始するまで待機しています」「ミーティングのホストが間もなくミーティングへの参加を許可します。もうしばらくお待ちください」などと表示された場合は、そのまましばらくお待ちください。
- 参加時は、Zoom 上の表示名は次のように設定してください：
 - Zoom ウィンドウの参加者リスト内のご自身の項の [詳細] → [名前の変更] で設定可能です。
 - 基本的に表示名は、“氏名@ご所属” にしてください。 例) 災害太郎@情報大学
 - 司会の方は、氏名の前に「司会者」を付けてください。 例) 司会者 災害太郎@情報大学
 - 発表者の方は、氏名の前に発表番号を付けてください。なおその際は、英字・数字部分は半角・1桁表示にしてください。 例) A1-1 災害太郎@情報大学

- マイクとカメラが正しく設定されているか確認してください：
 - Zoom ウィンドウのマイクアイコン、カメラアイコン脇の ^ をクリックで、各設定を確認できます。
- 発表時には、司会・発表者以外は、全員マイクをミュートにしてください：
 - Zoom ウィンドウのマイクアイコンをクリックで、ミュートの on/off を切り替えられます。
- 質疑時に発言したい場合、参加者ウィンドウの「手を挙げる」機能で意思表示してください。
 - →司会者から指名されたら、ミュートを解除し、発言を開始してください。
- 発言を終了したら、「手を挙げる」機能を解除し、再びマイクをミュートにしてください。

【口頭発表される方全員に対する諸注意】

- 発表で使用する PC やコネクタ（会場では HDMI 端子利用可）等は各自でご用意ください。実行委員会では機材貸出・技術的サポートの用意はありません。
- 発表 1 件につき、10 分発表+5 分質疑です。各セッションの最後に 10 分の総合討論の時間を設けます。なお、時間経過は以下のタイミングでお知らせしますが、念のため、お手元等でも計測をお願いします。
 - 8 分 1 鈴
 - 10 分 2 鈴（発表終了）
 - 15 分 3 鈴（質疑応答終了）
- 動画を流す場合は、なるべくパワーポイントに埋め込む形にしてください。
- 優れた口頭発表には、大会委員会による「優秀発表賞」を授与いたします（若手研究者・学生（40 歳以下）が対象）。なお、過去に阿部賞／河田賞／若手研究発表会・若手発表奨励賞（2021 年 4 月開催）／学会大会優秀発表賞を受賞した方は対象外となります。
- 発表を辞退する場合も、学会大会実行委員会・研究発表担当まで必ずご連絡ください。
- （オンラインセッションの方のみ）発表は Zoom の画面共有を使ったプレゼンテーションです。発表者についてはビデオ機器等の動作確認をしますので、セッション開始の 10 分前には入室ください。その後、必ず画面共有と音声テストを行ってください。司会より指示します。

お困りの際は、以下まで連絡をください。

学会大会実行委員会・研究発表担当 jasdis.taikai@gmail.com

●発表スケジュール（簡易版）

日本災害情報学会第28回学会大会プログラム

1日目（3月16日 9：00受付開始 受付：東京大学大学院情報学環・福武ホール）

	福武ラーニングシアター 口頭発表 A会場	福武ラーニングスタジオ 口頭発表 B会場
セッション1 9:30-10:55	メディア 座長：秦 康範	復興 座長：廣井 悠
セッション2 11:05-12:45	理論・防災教育 座長：岡田 夏美	災害対応 座長：石峯 康浩
セッション3 13:45-15:25	地震・津波・火山 座長：及川 康	社会調査・社会心理 座長：永松 伸吾
セッション4 15:35-17:00	水害・情報 座長：佐藤 史弥	訓練・ワークショップ 座長：千葉 啓広
セッション5 17:10-18:35	避難 座長：高原 耕平	システム・連携 座長：大津山 堅介
懇親会（事前申込制・先着順） 19:00-		

2日目（3月17日 9：00受付開始 受付：東京大学大学院情報学環・福武ホール）

	福武ラーニングシアター 口頭発表 A会場
セッション6 9:20-10:50	オンライン 座長：小林 秀行
セッション7 11:00-12:50	能登半島地震1 座長：伊勢 正
セッション8 13:50-15:20	能登半島地震2 (意見交換会) 座長：荒木 裕子
セッション9 15:30-17:00	能登半島地震3 (意見交換会) 座長：関谷 直也

●発表スケジュール（詳細版）

3月16日（土）9:30～10:55 セッション1

福武ラーニングシアター（A会場）

A1 メディア（座長 秦 康範）

- A1-1 首都直下地震を見据えた「呼びかけ」の考察 —アナウンサーによる「リアル防災訓練」の分析から—
田代 麻純（慶應義塾大学政策・メディア研究科）
大木 聖子（慶應義塾大学環境情報学部）
- A1-2 チャリティー番組の番組内容・視聴率・寄付額に対する災害の影響
—『24時間テレビ』を事例として—
福西理紗子（元 慶應義塾大学経済学部経済学科）
開沼 博（東京大学大学院情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館）
- A1-3 処理水放出直後に訪日した中国人観光客の SNS 上の投稿の分析
徐 氷岩（元 蘇州大学 コミュニケーション学部）
開沼 博（東京大学大学院情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館）
- A1-4 東京電力福島第一原子力発電所 ALPS 処理水放出時における反対意見形成過程に関する研究
—中国ショートビデオプラットフォーム Douyin（抖音）を中心に—
周テキブン（東京大学大学院 学際情報学府）
関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター／東日本大震災・原子力災害伝承館）
- A1-5 イラストによる防災のキーメッセージの表現
遠藤 凜香（関西大学社会安全学部安全マネジメント学科）
永松 伸吾（関西大学社会安全学部防災科学技術研究所）

3月16日（土）9:30～10:55 セッション1

福武ラーニングスタジオ（B会場）

B1 復興（座長 廣井 悠）

- B1-1 発災により実現した幼稚園カウンセリングで寄せられた主訴は、平時と変わらない
海老名悠希（常磐大学／YK ストレスケアオフィス）
開沼 博（東京大学大学院情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館）
- B1-2 コミュニティ生成過程への着目～双葉郡浪江町の事例を通じて～
葛西 優香（東日本大震災・原子力災害 伝承館／東京大学大学院学際情報学府）
関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
- B1-3 復興支援ソングの歌詞が聴き手の感情や復興感に及ぼす影響 -東日本大震災を対象とした実験から-
四井 早紀（東京大学先端科学技術研究センター）
林 春佳（東京大学工学部都市工学科）
大津山堅介（東京大学先端科学技術研究センター）
廣井 悠（東京大学先端科学技術研究センター）
- B1-4 原子力災害被災地域における復興と住民の主体性 —「かわまた田んぼリンク」を事例として—
佐々木大記（産業技術総合研究所／筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群）

高田 モモ (産業技術総合研究所)

保高 徹生 (産業技術総合研究所)

B1-5 福島復興を再考する：双葉町・大熊町・富岡町・浪江町の飲食店事業者の語りから (2)

吉田 豊 (筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究科群)

根本 豪己 (東京大学 教養学部理科一類)

山田 拓実 (東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻)

開沼 博 (東京大学大学院 情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館)

3月16日(土) 11:05~12:45 セッション2

福武ラーニングシアター (A会場)

A2 理論・防災教育 (座長 岡田 夏美)

A2-1 歴史災害の記録を活用した防災学習教材の検討

黒澤宗一郎 (京都大学大学院情報学研究科)

矢守 克也 (京都大学防災研究所)

A2-2 印象に残り、未来を考えるきっかけとなる展示とは？

ー東日本大震災・原子力災害伝承館への来館者を対象にした調査をとおしてー

ト 新哲 (東京大学大学院学際情報学府)

石井 晴音 (福島県立須賀川創英館高校／東日本大震災・原子力災害伝承館)

葛西 優香 (東日本大震災・原子力災害伝承館／東京大学大学院学際情報学府)

開沼 博 (東京大学大学院情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館)

A2-3 主体性を核としたゲーム開発と学習効果の検討 ーなりきり防災・減災ボードゲームを事例としてー

早田絵里菜 (早稲田大学社会科学部)

A2-4 学校における避難訓練の改善と課題-ノンテクニカルスキルを育む避難訓練の在り方-

大倉 加子 (慶應義塾大学政策・メディア研究科)

大木 聖子 (慶應義塾大学環境情報学部)

A2-5 国内避難民の社会的孤立を防ぐ——難民からの示唆——

金子 巧 (東京大学大学院学際情報学府)

開沼 博 (東京大学大学院情報学環 准教授／東日本大震災・原子力災害伝承館)

A2-6 中・長期的な防災教育効果の持続のための教育カリキュラム構築に関する考察

岡田 夏美 (京都大学防災研究所)

中野 元太 (京都大学防災研究所)

大西 祐輔 (京都大学大学院情報学研究科)

藤本 温子 (京都大学工学部地球工学科)

矢守 克也 (京都大学防災研究所)

3月16日(土) 11:05~12:45 セッション2

福武ラーニングスタジオ (B会場)

B2 災害対応 (座長 石峯 康浩)

B2-1 災害発生後を想定したドローンでの医薬品搬送の実証訓練

長濱 光葉 (関西学院大学大学院総合政策研究科)

照本 清峰 (関西学院大学建築学部)

B2-2 チャットサービスを用いた自治体の災害対応方法の検討

渡邊 千聖 (芝浦工業大学システム理工学部)

頂 佳孝 (芝浦工業大学システム理工学部)

狩野 秀鷹 (芝浦工業大学システム理工学部)

油井 彩由 (芝浦工業大学システム理工学部)

藤田 楓 (芝浦工業大学理工学研究科)

市川 学 (芝浦工業大学システム理工学部)

B2-3 テキストマイニングを活用した AAR が事業継続計画の継続的改善に与える効果に関する考察

田中健太郎 (香川大学大学院創発科学研究科創発科学専攻)

磯打千雅子 (香川大学 IECMS 地域強靱化研究センター)

B2-4 ソーシャル・キャピタルと地域リスクが災害への備えに及ぼす影響 :

ソフトとハードな対策の統合的分析

李 楠森 (滋賀大学大学院経済学研究科)

田中 勝也 (滋賀大学経済学部環境総合研究センター)

B2-5 様々な曝露量評価を考慮した 総合的土砂災害対策手法の提案

—横須賀市と広島市における将来リスク推計を通じて—

山内 瑞樹 (東京大学工学部都市工学科)

四井 早紀 (東京大学先端科学技術研究センター)

大津山堅介 (東京大学先端科学技術研究センター)

田村 将太 (広島大学大学院先進理工系科学研究科)

廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター)

B2-6 フンガ火山 2022 年噴火災害のトンガ王国内での影響に関する現地調査報告

石峯 康浩 (山梨県富士山科学研究所)

吉本 充宏 (山梨県富士山科学研究所)

秦 康範 (山梨大学大学院総合研究部)

佐藤 翔輔 (東北大学災害科学国際研究所)

安本 真也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

3月16日(土) 13:45~15:25 セッション3

福武ラーニングシアター (A会場)

A3 地震・津波・火山 (座長 及川 康)

A3-1 南海トラフ地震の発生後を想定した支援物資に関する地域住民の認識

田中 佑哉 (関西学院大学総合政策学部都市政策学科)

小柴 大樹 (関西学院大学総合政策学部都市政策学科)

宮本 尚輝 (関西学院大学総合政策学部都市政策学科)

照本 清峰 (関西学院大学建築学部)

- A3-2 首都直下型地震発生時に東京都内で火災被害から逃げ遅れる可能性のある住民背景の推定
都 城治 (国士舘大学 防災・救急救助総合研究所)
- A3-3 津波避難における逆U字仮説とその克服について
豊開 翔太 (東洋大学理工学部 都市環境デザイン学科)
及川 康 (東洋大学理工学部 都市環境デザイン学科)
- A3-4 インドネシア国における地震情報及び津波警報の伝達体制の改善に関する検討 (1)
～情報伝達体制の整理とボトルネックの推定～
赤澤 貴仁 (株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル プランニング事業部 水資源・防災部)
太田 陽子 (株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル プランニング事業部 都市地域開発部)
古田 明広 (株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル プランニング事業部 水資源・防災部)
- A3-5 インドネシア国における地震情報及び津波警報の伝達体制の改善に関する検討 (2)
～バンテン州チレゴン市を対象とした地震情報及び津波警報の情報伝達訓練の実施～
太田 陽子 (株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル プランニング事業部 都市地域開発部)
赤澤 貴仁 (株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル プランニング事業部 水資源・防災部)
古田 明広 (株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル プランニング事業部 水資源・防災部)
- A3-6 富士山噴火による降灰の影響評価と対策の検討 —降灰ケースをもとにした首都圏市区町村の類型化—
廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター)
平野 玄 (東京大学工学部都市工学科)
四井 早紀 (東京大学先端科学技術研究センター)
大津山堅介 (東京大学先端科学技術研究センター)

3月16日(土) 13:45～15:25 セッション3

福武ラーニングスタジオ (B会場)

B3 社会調査・社会心理 (座長 永松 伸吾)

- B3-1 ナッジを利用したハザードマップが閲覧者の理解や防災意識の変化に及ぼす影響
榎田 桃子 (東京大学工学部都市工学科)
廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター)
大津山堅介 (東京大学先端科学技術研究センター)
四井 早紀 (東京大学先端科学技術研究センター)
- B3-2 令和5年7月以降の記録的大雨による秋田県での心理的影響に関する縦断研究: 6ヶ月経過時点の調査
門廻 充待 (秋田大学 新学部設置準備担当)
奥山 純子 (東北大学病院 リハビリテーション科)
今村 文彦 (東北大学 災害科学国際研究所)
- B3-3 中国における処理水放出反対言説の社会心理学的研究
丁 可 (東京大学大学院学際情報学府)
開沼 博 (東京大学大学院情報学環/東日本大震災・原子力災害伝承館)
- B3-4 災害イメージの形成プロセスに関する検討 ——解釈レベル理論に着目して——
石橋 真帆 (東京大学大学院学際情報学府)

関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

- B3-5 賃貸住宅の原状回復義務の免除は「家具転対策」に寄与するのか：防災士への質問紙調査より
安藤ゆかり (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科)
紅谷 昇平 (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科)

- B3-6 福島・東京の高校生の3.11に対する認識の現状と課題
開沼 博 (東京大学大学院情報学環/東日本大震災・原子力災害伝承館)
井上 天凱 (成城学園高校/東日本大震災・原子力災害伝承館)

3月16日(土) 15:35~17:00 セッション4

福武ラーニングシアター (A会場)

A4 水害・情報 (座長 佐藤 史弥)

- A4-1 時系列を踏まえた都市空間で行う水害対策の実施方針の検討
：秋田県雄物川流域を対象としたケーススタディ
山田 拓実 (東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻)
大津山堅介 (東京大学 先端科学技術研究センター)
四井 早紀 (東京大学 先端科学技術研究センター)
廣井 悠 (東京大学 先端科学技術研究センター)
- A4-2 京都府京丹波町におけるローカルOUNDメディアを 活用した防災情報発信の課題と可能性
西村 公貴 (京丹波町総務部企画情報課)
近藤 誠司 (関西大学社会安全学部)
小山 倫史 (関西大学社会安全学部)
- A4-3 大雨特別警報の運用等の変遷と改善効果
向井 利明 (新潟地方気象台/静岡大学防災総合センター)
牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)
- A4-4 避難情報の人的被害軽減効果の実証分析—令和2年7月豪雨を事例として—
永松 伸吾 (関西大学/防災科学技術研究所)
成行香菜子 (関西大学社会安全学部)
- A4-5 土砂災害ハザードマップの地図表現の多様性と 判読の特徴
佐藤 史弥 (山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター)
高橋 皓太 (山梨大学工学部土木環境工学科)
秦 康範 (山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター)

3月16日(土) 15:35~17:00 セッション4

福武ラーニングスタジオ (B会場)

B4 訓練・ワークショップ (座長 千葉 啓広)

- B4-1 建物診断を踏まえた避難訓練の実施と改善,今後について
小坂 真穂 (愛知工業大学名電高等学校 MDPT)
小村 柑七 (愛知工業大学名電高等学校 MDPT)
日比野由奈 (愛知工業大学名電高等学校 MDPT)

中谷 有喜 (愛知工業大学名電高等学校 MDPT)

建部 恵子 (愛知工業大学名電高等学校)

B4-2 大学における災害対策本部訓練の施行

野島 健志 (芝浦工業大学 システム理工学部)

藤田進太郎 (芝浦工業大学 システム理工学部)

小嶋 隆斗 (芝浦工業大学 システム理工学部)

石原 知歩 (芝浦工業大学 システム理工学部)

宿谷 美礼 (芝浦工業大学院 理工学研究科)

藤田 楓 (芝浦工業大学院 理工学研究科)

市川 学 (芝浦工業大学 システム理工学部)

B4-3 地域参加による洪水浸水シナリオ体験型避難支援 Web アプリ「雨トレ (シナリオ版)」の開発

佐々木浩貴 (株式会社ウエスコ)

田中 龍二 (株式会社ウエスコ)

池本 悠華 (株式会社ウエスコ)

待寺 彩香 (株式会社ウエスコ)

松田 哲裕 (株式会社ウエスコ)

竹之内健介 (香川大学 創造工学部)

B4-4 従来型の避難訓練参加者の意識分析 ～工業高等専門学校的事例を対象に～

西 奏人 (香川大学創造工学部創造工学科防災・危機管理コース)

磯打千雅子 (香川大学 IECMS 地域強靱化研究センター)

B4-5 南海トラフ地震の半割れシナリオに対する地域社会の耐災性を考えるワークショップに関する一考察

千葉 啓広 (名古屋大学減災連携研究センター)

水井 良暢 (リアルタイム地震・防災情報利用協議会 / 防災科学技術研究所)

野村 一保 (名古屋大学減災連携研究センター)

高橋 成実 (防災科学技術研究所)

中村洋光 (防災科学技術研究所)

平山修久 (名古屋大学減災連携研究センター)

3月16日 (土) 17:10～18:35 セッション5

福武ラーニングシアター (A会場)

A5 避難 (座長 高原 耕平)

A5-1 率先避難を再考する

森本 翔太 (東洋大学理工学部 都市環境デザイン学科)

及川 康 (東洋大学理工学部 都市環境デザイン学科)

A5-2 兵庫県における防災気象情報と被害発生率の関係性

山口 章子 (人と防災未来センター)

A5-3 避難行動要支援者の津波避難に関する対応課題

岸 里澄 (関西学院大学総合政策学部都市政策学科)

大島 綾歌 (関西学院大学総合政策学部都市政策学科)

長濱 光葉 (関西学院大学大学院総合政策研究科)

照本 清峰 (関西学院大学建築学部)

A5-4 避難情報に求められる「正確性」と「説得性」

庄司 秀明 (関西大学大学院社会安全研究科)

永松 伸吾 (関西大学社会安全学部)

A5-5 要因サーベイ実験による豪雨時避難行動の規定要因分析

田中 勝也 (滋賀大学経済学部/環境総合研究センター)

赤石 一英 (横浜地方気象台)

横田 崇 (愛知工業大学工学部)

草野富二雄 (環境防災総合政策研究機構 (CeMI))

3月16日(土) 17:10~18:35 セッション5

福武ラーニングスタジオ (B会場)

B5 システム・連携 (座長 大津山 堅介)

B5-1 災害実動機関向け最前線オペレーションシステムのハンズフリー化に向けた基礎検討

坂野 寿和 (株式会社国際電気通信基礎技術研究所)

Ojetunde Babatunde (株式会社国際電気通信基礎技術研究所)

鈴木 昌広 (株式会社国際電気通信基礎技術研究所)

中村 明 (株式会社ATR-Trek)

深田 俊明 (株式会社ATR-Trek)

B5-2 車両避難シミュレーションによる交差点の左折量と駐車時間の影響評価

和田 敦 (トヨタ自動車株式会社 未来創生センター R-フロンティア部)

佐多 宏太 (トヨタ自動車株式会社 未来創生センター R-フロンティア部)

北濱 謙一 (トヨタ自動車株式会社 未来創生センター R-フロンティア部)

B5-3 気象レーダを用いた吹雪時の視程推定 ～視程急変予測情報の社会実装を見据えて～

大宮 哲 (寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム)

國分 徹哉 (寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム)

武知 洋太 (寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム)

西村 敦史 (寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム)

B5-4 災害ボランティアの責任(権利)に関するコミュニケーション(連携/しがらみ)と

非コミュニケーション(分断/排除)

高田 昭彦 (富士フイルムビジネスイノベーション/復興ボランティアタスクフォース)

B5-5 都市の屋外・半屋外空間における 暑熱環境緩和効果と主観的評価の考察

-京都市における夏季と秋季での歩行実験を通じて-

大津山堅介 (東京大学先端科学技術研究センター)

山田 航介 (東京大学大学院工学研究科都市工学専攻)

廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター)

四井 早紀 (東京大学先端科学技術研究センター)

福武ラーニングシアター (A会場)

3月17日(日) 9:20~10:50 セッション6

福武ラーニングシアター (A会場)

A6 オンライン (座長 小林 秀行)

A6-1 雨動画による人の降雨に対する視聴覚的感覚特性の分析 ～人と雨の関係を考えるオープンサイエンス～

鎌田 暉 (香川大学大学院創発科学研究科創発科学専攻)

竹之内健介 (香川大学創造工学部)

A6-2 防災教育向けXR関連研究における2024年までの傾向の整理・分析に向けた試みと

今後の展開に関する考察

野元 颯馬 (関西大学大学院)

A6-3 メキシコにおける雨トレの効果と日本との比較

石坂 茉央 (香川大学創造工学部)

竹之内健介 (香川大学創造工学部)

Rodrigo Garibay (京都大学 情報学研究科)

中野 元太 (京都大学 防災研究所)

A6-4 地域防災力向上に資する情報伝達訓練モデルの提案～アマチュア無線を事例に～

富永 侑駿 (香川大学創造工学部創造工学科 防災・危機管理コース)

磯打千雅子 (香川大学 IECMS 地域強靱化研究センター)

A6-5 ナッジで備蓄を促進するー広島市の町内会における実証・協働取組事例ー

植竹 香織 (ポリシーナッジデザイン合同会社)

北野 翔大 (大阪大学大学院経済学研究科)

A6-6 広域避難の現状と意識変容に効果的な要素の検討～大阪府摂津市鳥飼北地区における事例を通じて～

竹之内健介 (香川大学創造工学部)

亀井 春希 (香川大学創造工学部創造工学科)

3月17日(日) 11:00~12:50 セッション7 (※最後の総合討論の時間を若干、長めに設定しております。)

福武ラーニングシアター (A会場)

A7 能登半島地震1 (座長 伊勢 正)

A7-1 多重被災における「情けなさ」ー能登群発地震における石川県珠洲市の被害事例からー

小林 秀行 (明治大学情報コミュニケーション学部)

A7-2 2024年能登半島地震時に発生した石川県輪島市河井町における市街地火災と津波との関係性

苫米地毅大 (東京大学 工学部都市工学科)

廣井 悠 (東京大学 先端科学技術研究センター)

大津山堅介 (東京大学 先端科学技術研究センター)

A7-3 マスメディアの報道情報から収集した令和6年能登半島地震津波における避難実態の整理・分析

牧野嶋文泰 (富士通株式会社)

佐藤 翔輔 (東北大学 災害科学国際研究所)

今村 文彦 (東北大学 災害科学国際研究所)

A7-4 令和6年能登半島地震に際した被災地支援観の検証～ジャーナリズムの協働的役割に注目して～
本多 祥大（日本大学大学院新聞学研究科）

A7-5 いかにして能登半島地震に際してチャリティーアニメ配信は実現したのか？

——『花咲くいろは』を事例として——

柳瀬 一樹（東京大学大学院学際情報学府）

開沼 博（東京大学大学院情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館）

A7-6 令和6年能登半島地震におけるスマートフォンアプリと通信SIM内蔵型IP災害告知端末の
連携事例の研究

増田 和順（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 客員研究員）

3月17日（日）13:50～15:20 セッション8（※最後の総合討論の時間を長めに設定しております。）

福武ラーニングシアター（A会場）

A8 能登半島地震2（座長 荒木 裕子 / ディスカッサー 臼田 裕一郎）

A8-1 令和6年能登半島地震における人的被害(速報)

牛山 素行（静岡大学防災総合センター）

杉村 晃一（静岡市役所）

横幕 早季（静岡大学防災総合センター）

A8-2 実動機関の走行履歴の共有による道路状況の把握 - 令和6年能登半島地震への緊急対応より -

伊勢 正（防災科学技術研究所）

工藤 隼人（防災科学技術研究所）

吉森 和城（防災科学技術研究所）

飯田真知子（防災科学技術研究所）

磯野 猛（防災科学技術研究所）

臼田裕一郎（防災科学技術研究所）

A8-3 R6 能登半島地震での Google マップを活用した水道に係る情報共有の取り組み

平山 修久（名古屋大学）

臼田裕一郎（防災科学技術研究所）

A8-4 住宅損壊被災者の避難環境・住宅再建に向けた状況—2024年能登半島地震後の現地活動から—

荒木 裕子（京都府立大学生命環境科学研究科）

話題提供 ISUT 活動から見た災害情報共有における課題

臼田裕一郎（防災科学技術研究所）

3月17日（日）15:30～17:00 セッション9（※最後の総合討論の時間を長めに設定しております。）

福武ラーニングシアター（A会場）

A9 能登半島地震3（座長 関谷 直也 / ディスカッサー 杉山 貴弘）

A9-1 能登半島地震 NHK アナ「命を守る呼びかけ」への考察

中山準之助（日本放送協会 放送文化研究所 世論調査部 社会調査班）

A9-2 令和6年能登半島地震発生時のテレビ災害特別番組における津波避難キャスターコメント分析
福本 晋悟（毎日放送報道情報局報道センター／人と防災未来センター）

A9-3 大地震発生時の初期情報で“被災規模”を読み解けるか？
2024 能登半島地震 石川県「被害報告」をもとに
谷原 和憲（日本テレビ放送網）

話題提供 能登半島沿いの津波断層モデル「F43」について（仮）
横田 崇（愛知工業大学）